事例No.	2700
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	みせるばやお

事例区分	地域活性化

タグ	・人材確保・育成 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	人材確保・育成

事例内容・タイトル

みせるばやお

出典

令和元年度ふるさとづくり大賞事例集

団体表彰

みせるばやお　大阪府八尾市

地域経営改革　地場産品発掘・ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ化　観光振興・交流　産業振興

概　要

八尾市は中小の製造事業者約3,000社が集積する「ものづくりのまち」であるが、近年、廃業等により企業数が減少しており、まちのアイデンティティの消滅の危機に瀕している。

このような中、平成30年に地域の中小企業を中心に大企業や大学、金融機関等のコンソーシアムにより、本団体（同年に同名の拠点施設をイノベーション推進拠点として整備）が設立された。

まちのアイデンティティを次世代の子どもたちに継承すべく、ものづくりの楽しさを伝えるワークショップを実施するほか、空間、データ、ヒトのシェアリングプラットフォームを構築するなど、地域の中小企業の活性化、ひいては地方創生に資する取組を実施している。



【地域企業による勉強会】

評価された点

・３年間で88のコラボレーション企画・商品を開発するために、子ども向けのものづくりワークショップをはじめ、様々な事業を推進している。空間、データ、人材をシェアすることで地域の中小企業の可能性を高めていることは他地域の産業集積地の模範となると考える。
・地域産業である「ものづくり」の楽しさを伝える仕組みにより、子どもから大人への魅力発信事業だけでなく、企業支援も行っており、幅広く展開している。さらに企業同士のコラボレーション商品が生まれる等の連携も広がっている。今後のさらなる発展性も期待でき、他地域の模範になりうる。
・地域の企業が「ローカルナレッジシェア」をめざし単なる書面上の連携ではなく、データの共通クラウド化やランチミーティング等会社と会社、社員と社員が出会う機会を設けることで、一社単位では難しい多くのイノベーション、コラボレーションが生まれている。
・次世代の担い手づくりにも結び付き、中小零細の地域産業の最重要な支援となる「情報発信」の役割を果たしている。
・ものづくりのまちでコラボレーションすることにより、連携に広がりが出てきている。世界的に見ても、日本を代表するものづくりエンターテインメント施設である。





【ものづくりの楽しさを伝えるワークショップ】